

『幼稚園の現場から』

27・おもちゃのかえっこ

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

今回は、全国いろんなところで開催されている「かえっこ」「かえっこバザール」についてご紹介いたします。このイベントはシステムがとても良くできている上に、親子層の集客力が高いので、商業施設などの各種施設、地域活動、子育てサークル、行政、教育などに携わる方が、交通安全や防災の企画と抱き合わせで開催したり、いろんな形で実施されています。

その仕組みを簡単に説明すると、

- (1) 不要になったおもちゃをカエルポイントに交換して、他の方が提供したほしいおもちゃをポイントで買う、というシステムが“かえっこ”です。
- (2) ポイントは不要なおもちゃを“売る”ことでゲットできます。
- (3) ポイントの無い人は開催されているワークショップを体験することでポイントをゲットできます。

このワークショップにそれぞれの主催者が意図する内容を盛り込むことができるのです。もちろん、かえっこ単体だけでも十分に楽しい活動です！

「来年のイベントどんなことしよう～？」「子どもたちが喜ぶイベントがしたいな～」とお考えの方、こちらのサイトを見てみて下さい！

①まず導入編

<https://www.youtube.com/watch?v=RD4eerJNYOs>

◀かえっこ説明動画6分程度

②より詳しくブログで見る

<http://kaekko.exblog.jp/>

◀Kaekkoの情報ブログサイト

③このシステムを考案したのは、藤浩志さんという美術家の方です。なので、最初は美術館などアート関係の方からかえっこは広まってきました。発案と事務局を運営して下さいという敬意を込めて紹介致します。膨大なおもちゃを使ったアートもすごいです！ちなみに事務局窓口は奥様が運営されています。

www.geco.jp ◀藤浩志さんのHP

https://www.youtube.com/watch?v=jANcMttg_d4&feature=youtu.be

◀作品

仕組みを一通り頭に入れて頂いたところで、開催の手順をおさらいしましょう。

《計画・事前準備》

(1) 開催時期と集客人数を

だいたい決めます。

関係者だけに収めるのか、一般に広く告知するのかは、段取りを共通認識しているスタッフの人数や、会場の広さで変わってきます。

(2) 開催時期と会場が決まったら、必要なグッズを「かえっこ事務局」から購入します。

最低必要なのは、

①かえっこカード

②カエルスタンプ

あると便利なものは色々揃っていますが、手持ちもので代用することも可能です。開始に先だって必要なおもちゃも事務局から送ってもらうこともできます。事務局は利益無しで行っているのので、グッズを買うことが運営を支えることに繋がります。

(3) かえっこの仕組みをわかりやすくプリントして、日時・会場を告知します。

同時に、小学生以上のボランティアスタッフを募集します。

《当日の段取りと注意》

(4) できればスタッフ希望者への仕事の説明の時間が取れるとスムーズです。

(5) フリーマーケットと混同してしまいがちなので、大人が売り場に入らないこと、その意味などを掲示したり、説明していかないと、トラブルの元になるので注意しましょう。

(6) ワークショップは必須です。こちらの計画もぬかりなく！

(7) 予想外の来客数への対応も考えておく必要があります。整列場所、入口、出口、大人の待機場所等々、人の流れを考慮して配置します。私たちは1回の入場で買えるおもちゃの個数を3個と決めたり、幼児の時間を設けたりしてコントロールしています。

(8) オークションは、参加する年齢によって形を変えても良いでしょう。私たちはじゃんけん大会でゲットするようにしました。

(9) 閉会後に余ったおもちゃは、処分するものと分けて、保管したり事務局へ送ったりします。



次は原町幼稚園での具体的な取り組みについてレポートします。一例として参考にして下さい。2008年から始めた“かえっこ”も今年で9回目。原町幼稚園では保護者会のお母さん方が担当する一般対象ミニバザーや飲食の模擬店、職員が担当するワークショップ（あそび）コーナーで構成されています。かえっこでは収益はありませんから、模擬店やバザーの売上げで園で使う備品の購入資金に充てたりします。

今年は、既に11月中旬に終了しましたが、保護者の方からこんな嬉しい感想をいただきました。

『土曜日のかえっこバザールでは、
〇〇は相変わらずの小心っぷりでご迷惑をおかけしました。でも〇〇は、自分で選んだおもちゃをととても喜んでいました。親が入れないっていいですね！子どもに（おもちゃを）選ばせているようで、親はぜったいに持っていないものや、ジャマにならないものとか、無意識に子どもを誘導してしまいますもんね(^_^;) 子どもにとっては似たものが家にあるうが、その時ほしいおもちゃが宝物なんだと改めて感じる事ができました！ありがとうございました。』

年少組の一つ下、3歳の男の子のお母さんからのお手紙でした。その日の彼は、初めての参加で母さんと離れることになり、大泣きをして会場入りしたんですが、誘導の保育者におもちゃの前に連れていかれると、ピタッと泣き止んでおもちゃを選んで、ゴキゲンで帰っていったそうです。

この活動を幼稚園でやる意義については、次ページからの告知プリントをご覧ください。

『はらっこバザール2016』(^o^)/ごあんない第一弾

2016.10.27原町幼稚園

11月19日(土)『はらっこバザール』が開催されます。

今日は概要のお知らせと、お手伝いの募集です！

※かえっこのシステムや当日の模擬店などについては後日詳しくお知らせします。

昨年参加したお友だちは、スタンプカードの確認と、交換するおもちゃを選んで準備してね！



初めての人は「かえっこ」でインターネット検索してみてください！

はらっこバザールって なにするの？

《1》子どもたちの「おもちゃのかえっこ店」

☐全国共通レシビのおもちゃのとりかえっこシステムにて
お金ではなくポイント制の「こどもだけのおみせやさんごっこ」を楽しみます。

かえっこシステムについては後日詳しくお知らせします。

◎もう遊ばないけど捨てるのはもったいない→提供できるおもちゃを選んでおいて下さい。

《2》お楽しみコーナー

☐先生によるお楽しみコーナーで遊びます。

ポイントをゲットできるコーナーもあります。

《3》マミーさん＆OBによる模擬店&ミニバザー

☐お母さん方の手作り品が大人気のバザーと、食品の模擬店が出店します。

登園日ではありませんので自由参加ですが、積極的にご参加下さい！
卒園生、お友達もOK！あそびに来て下さいね！

○開催時間は、午後12時～3時／原町幼稚園と保育園1階にて。雨天決行

お昼から開催します！ランチタイムを園でどうぞー！

かえっこ最終入場時刻は午後2時半→3時終了です。

○参加対象者は、園児関係者、卒園生とその友達、未就園児の方。

○保育園の土曜日保育は保育園2階で行います。バザールのお客さんは入れません。

◎模擬店お手伝いさん募集！ご協力よろしくお願いします！

マミーさんだけでは手が足りないため、

当日の模擬店の販売補助、準備などの

お手伝いをお願いしたいです！

※お手伝いの方にささやかなお礼、模擬店交換券1枚進呈！

(別紙お手伝いのお手紙をお読み下さい)

♪はらっこ模擬店予定

手作りミニバザー、らくがきせんべい

フランク、からあげ棒、チョコバナナ、カフェコーナー

チョコバナナ、ポップコーン、焼き菓子&パン

おにぎり、ドリンクを出店予定！



『はらっこバザール2016』おてつだい募集のお手紙

2016.10.27..原町幼稚園

A：大人のスタッフ募集

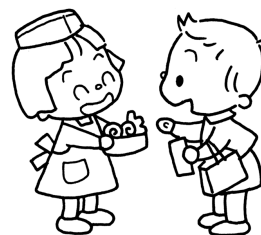
仕事は、模擬店コーナーの店員さんです。
マミーさん一緒に店番をお願いしたいと思います。

①前半12：00～13：30・・・ 10～20名

②後半13：30～15：00・・・ 10～20名

③午前中の準備 9：00～ 10～20名

ご協力よろしくお願い致します。（申込は下の連絡票で！）



B：小学生以上のスタッフ募集

幼稚園のときにお兄ちゃん、お姉ちゃんにお世話になったキミたち！
今度はキミたちの番です！在園児兄弟とそのお友達対象に募集します！（小中学生）
噂を聞きつけたお友達以外の卒園生もOK！（口コミで広げて下さい！）
仕事は、かえっこバザールのスタッフです。下のお仕事紹介を見て下さい。

- ①バンクマン・・・お客さんとコミュニケーションしながらオモチャを査定してカードにスタンプを押す仕事。
- ②シールマン・・・バンクで査定されたオモチャにポイントのシールテープを貼る仕事。
- ③ハコビマン・・・バンクに集まったオモチャをショップに運ぶ仕事。
- ④ショップマン・・・お店の売り子さん。お店に来た小さいお友達のお世話もします。
- ⑤レジマン・・・お客さんが選んだオモチャを計算してポイントをチェックします。
- ⑥あるかもしれない仕事・・・お店を守るかえっこポリスや、大人の人の入場制限をするかえっこガードマンなど。
- ⑦マミーさん模擬店のおてつだいもお願いします！

仕事時間は約60分です。（①12～1時、②1～2時、③2～3時）
かえっこの仕事の合間に模擬店のお手伝いも募集します。当日お子さんに希望を聞きますので
伝えておいて下さるとありがたいです。

★小学生には11月19日の午前9時半から仕事説明会を行います、

説明会にも参加できて午後仕事出来る小学生！エントリーして下さい。

エントリーしてくれた皆さんには後ほどお知らせします。

☆スタッフの仕事が終わったら、カエルポイントとささやかなお礼を進呈！

★はらっこバザール2016連絡票（11/4までをお願いします）

提出者お名前_____組 園児名_____

募集A：大人 お手伝いされる方のお名前：_____

〔希望時間帯： ①前半 ②後半 ③午前中の準備 ④どの時間帯でもOK〕

募集B：小中生

お名前_____（学年_____）〔希望時間帯： ①12-1時 ②1-2時 ③2-3時〕

お名前_____（学年_____）〔希望時間帯： ①12-1時 ②1-2時 ③2-3時〕

お名前_____（学年_____）〔希望時間帯： ①12-1時 ②1-2時 ③2-3時〕



「おもちゃのかえっこ」とは？

このお手紙は、はらっこバザールで行う「おもちゃのかえっこ」のやり方について、お知らせします。
これは、全国各地で開催されている、かえっこ（Kaekko）という仕組みを使っています。

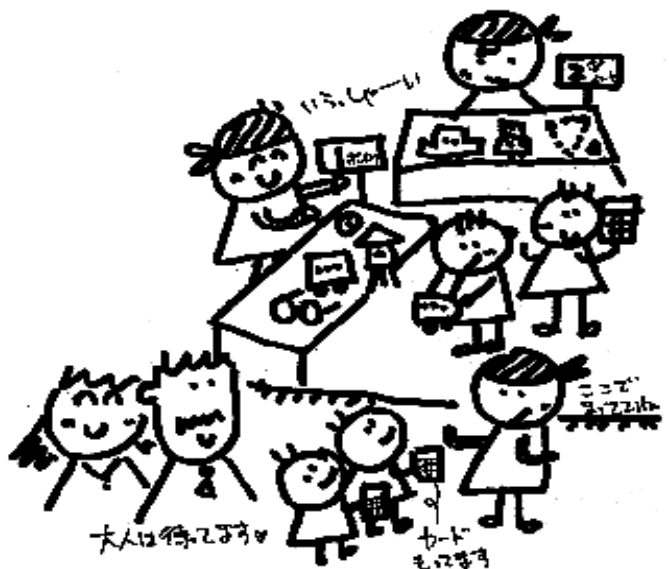
☆しくみは簡単です。

- ①お家から不要になったオモチャを持ってきて提供します。
- ②そのおもちゃを査定してもらって、カエルポイントに交換します。
- ③カエルポイントを使って、誰かが提供したオモチャの中から欲しい物を選んで買い物（ポイントと交換）します。

☆かえっこは、あくまでも子どものあそび！

バザーやフリーマーケットと同じに考えてしまう方がいますが、それはちがいます！

まず利益を目的としていません。かえっこショップ運営のために手間と費用をかけて準備し、オモチャの提供とみんなの協力で成り立つリアルな“お店屋さんごっこ”なのです。



バザーやフリーマーケットと同じに考えてしまう方がいますが、それはちがいます！

まず利益を目的としていません。かえっこショップ運営のために手間と費用をかけて準備し、オモチャの提供とみんなの協力で成り立つリアルな“お店屋さんごっこ”なのです。

☆どんな意味があるのでしょうか？

街の駄菓子屋さんや昔ながらのお店が減って、スーパーやコンビニで買い物をする現代、子どもたちが、小銭を握りしめて自分の欲しい物をさがし、お店の人とやりとりしながら買い物をするチャンスはめっきり減りました。今回のイベントの中では、「本物のオモチャ」がお店に並ぶので、子どもたちにとっては、「遊びなんだけど、遊びを超えた本物の魅力!!!」にキラキラしながら、緊張したりワクワクしたりするお買い物の経験になるでしょう。

☆そのほかに、次のような効果も期待しています！

●まず、自分のおもちゃを見直す！

かえっこをきっかけに、自宅のおもちゃをお子さんと見直してみてください。お部屋にはおもちゃが溢れていませんか？

お子さんと相談しながら「もう、これは卒業しようね」「これはもういらないや」という整理をしたり、「自分の本当に大切なおもちゃはどれか」など、選び取り、ただ捨てるのではなく「必要な誰かに使ってもらおう」という気持ちで、リサイクル、リユースの意識を育てていきます。

●次に、かえっこショップで楽しみながら、

他の人には必要無くなったけど、自分は欲しいおもちゃを探します。

何回も言いますが、自分で！というところがポイントです。何を選ぼうが自分で決めるのです。

手持ちのポイントを全部使って、山のようにおもちゃを持ち帰る子どももいました。これではリサイクルの意味が弱くなってしまいますので、ジックリ自分の気持ちと向き合ってもらうために1回3個までと限定しました。

☆かえっこを楽しむためのルール【重要】

お店の運営は、お手伝いの子ども（小学生）を中心に運営されます。

お店の中に、大人は入れません。

「あれを買いなさい!」「はやく選びなさい!」という口出しもなしにしてください!

子どもが自分で選び、自分で決めて、自分で買い物をするためです。

時間がかかっても忍耐強くおまちください。。。。

オモチャをお金に換算して考えては成り立たない遊びです。

・・・ですので、コミュニケーションを大切にしながら和気あいあいとやっていきます。

最後にダメ押しでもう一つ、「こんな、しょうもないもん買ってきて〜(´o´)」という

“ご感想”も無しです。自分で決めてきたことが否定されるって悲しいですから。

主旨をご理解の上、ご参加よろしくお願い致します。m(__)m

☆かえっこに参加する方は、 かえっこするオモチャを選んでまとめておいてください。

必ずお子さんと一緒に選んで合意を得てお持ち下さい。

*もう、必要ないオモチャ。プラスチックのオモチャ、ぬいぐるみ、、キャラクターグッズ、

*アクセサリー、本、CDなどOKです！

*細かいオモチャがたくさんの場合は、ビニール袋に入れるなどして予めだいたいの数を数えてきて下さい！（メモ貼り付けなどご配慮を！）

◎提供するオモチャが無い人は提供しなくても大丈夫です。ワークショップ・ゲームコーナーでポイントをゲットできます。

◎逆に、ポイントで利用できる模擬店もあります。

■持ち込んで頂くオモチャについて

リサイクルショップではありません、子どもたちの手に渡すものですから、破損して使い物にならないものや汚れのひどいもの、揃っていないゲームなどは避けて下さい。



★だいたいの概要と主旨はおわかり頂けましたでしょうか？ ♪では、

☆かえっこの実際の流れについて説明します

お家の方は「自分で買い物をすること」をお子さんに説明してあげて下さい。

◎かえっこショップの入場制限

ショップは3回に分けて開きます。入れ替え時に15分間閉まります。

①かいめ・12じ～1じ（園児のみ）

②かいめ・1じ15ふん～2じ（小学生も参加OK!）

③かいめ・2じ15ふん～3じ（ ” ）

☆原町幼稚園・原町保育園の園児は①～③入れます。

☆小学生は、②かいめから入れます。

☆未就園児は、自分で買い物が出来ないので入れません。

☆子どものお店なので、中学生以上と大人は入れません。

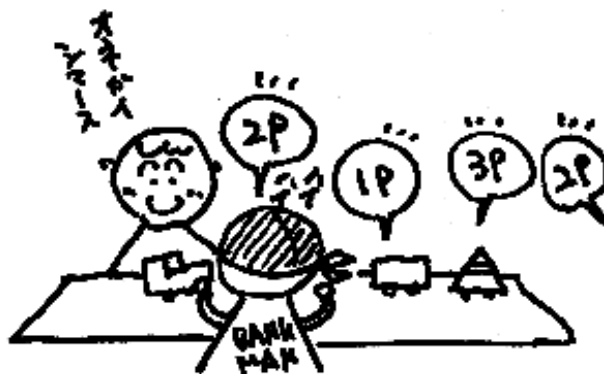
☆年少組、うさぎ組には小学生のスタッフ、もしくは担当職員がついて一緒に買い物を手伝います。

1 会場に来たら、 まず列に並んで下さい

会場は、保育園の向かって右側の部屋です。

おもちゃを買う人も、おもちゃを提供する人も同じ列に並びます。

ショップの入口で大人の方は、お子さんと分かれてテラスや園庭でお待ち頂くことになります。



2 おもちゃを売りたい人は？「かえっこバンク」に行く

おもちゃを提供して「かえっこカードに」カエルポイントのスタンプを押してもらいます。これが通貨代わりになります。

本物の通貨を使う訳ではありませんが、お子さんに説明する時には、お店やごっこですから「売る」と言ったほうが理解がしやすいと思います。

どんなおもちゃも1～3ポイントに査定されます。査定するのは「バンクマン」の子ども！

基本的にバンクマンの独断で決めていきます。（今年はオークションは行いません）

★そこそこのもの＝1カエルポイント → [赤シールをつけてお店に並ぶ]

★まあまあのも＝2カエルポイント → [黄シールをつけてお店に並ぶ]

★なかなかのも＝3カエルポイント → [青シールをつけてお店に並ぶ]

※細かいものが沢山持ち込まれたときは、バンクマンとの交渉で

まとめて10ポイントなど臨機応変に対応します。ま、言ってみれば子ども任せ！

3 おもちゃは「カエルポイント」で買います



「カエルポイント」は会場にある「かえっこカード」にスタンプされます。昨年カードを持っている人は、そのカードを持って「かえっこショップ」へ。

自分の持っている「カエルポイント」の分だけおもちゃを買うことができますが、1回の入場で3個だけに限定します。

気に入ったおもちゃをじっくり探すこと、無駄なものを更に無駄に買っていかないこと。店内の回転率を上げること、の3つの理由があります。

これだ！というおもちゃを（3個）見つけたら「レジ」に持っていき、「カエルポイント」を消してもらえば買い物が終わります。

※再度買い物をしたい人はもう一度最後尾から並んで下さい。

大人の方は、お子さんが買ってきたおもちゃについて「いいの選んだね！」と言ってあげて下さいね

子どもが自分で選んだということを尊重しましょう！

前半が混雑しますが、後半は比較的すいています。

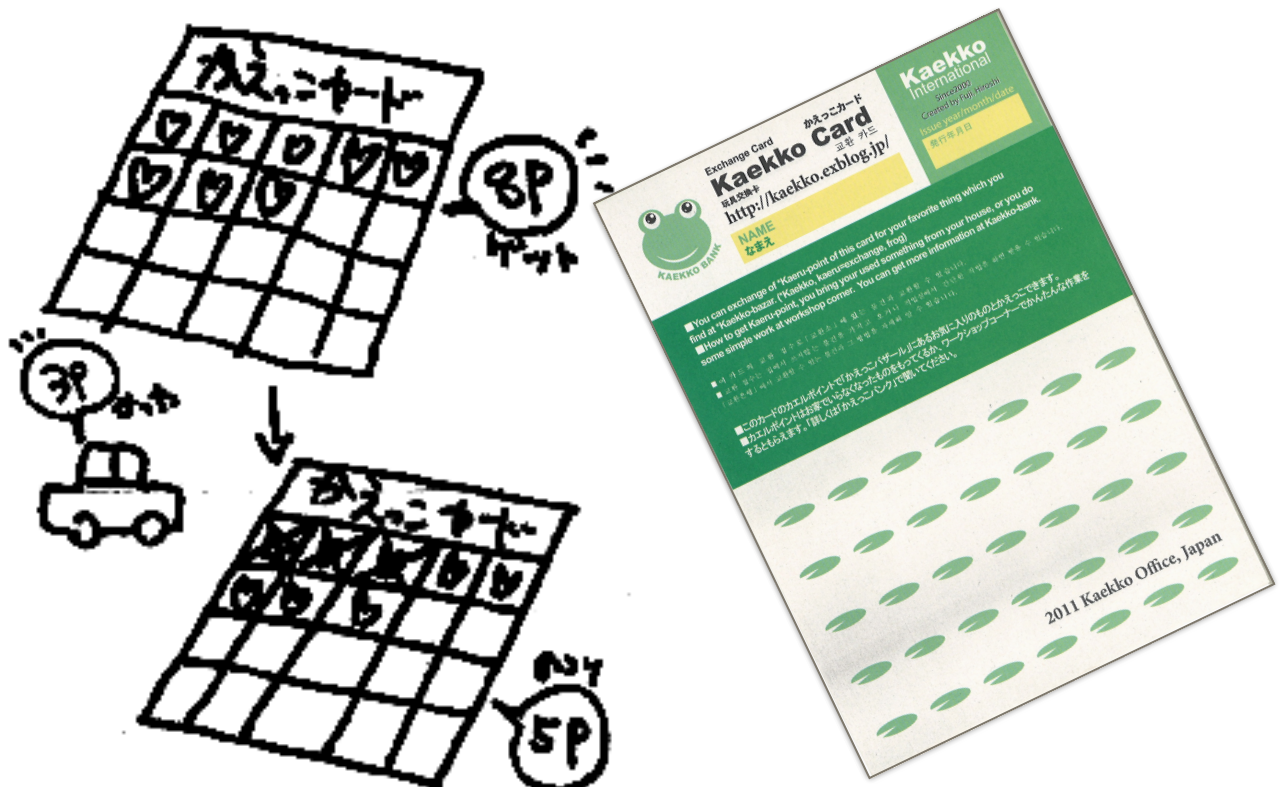
ゆっくりおいでになるのも良いかと思います。

4 提供するおもちゃ、ポイントがないときは？

売るおもちゃが無かったり、ポイントが足りなくなったら、幼稚園の2階でやっているワークショップに参加してカエルポイントをゲットすることができます。

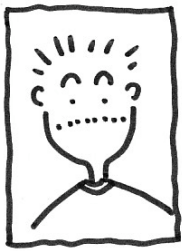
※ポイントは今回使いきってしまった場合でも、

かえっこバザールを開催している全国の会場でも使えます。





さあ!かえっこを楽しみましょう!



原町幼稚園 園長 鶴谷主一

HP : <http://www.haramachi-ki.jp/>

MAIL : osakana@haramachi-ki.jp

Twitter : @haramachikinder

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- 第1号 エピソード
- 第2号 園児募集の時期
- 第3号 幼保一体化第
- 第4号 障害児の入園について
- 第5号 幼稚園の求活
- 第6号 幼稚園の夏休み
- 第7号 怪我の対応
- 第8号 どうする保護者会?
- 第9号 おやこんぼ
- 第10号 これは、いじめ?
- 第11号 イブニング保育
- 第12号 ことばのカリキュラム
- 第13号 日除けの作り方
- 第14号 避難訓練
- 第15号 子ども子育て支援新制度を考える
- 第16号 教育実習について
- 第17号 自由参観
- 第18号 保護者アナログゲーム大会
- 第19号 こんな誕生会はいかが?
- 第20号 ITと幼児教育
- 第21号 楽しく運動能力アップ
- 第22号 〔休載〕
- 第23号 大量に焼き芋を焼く
- 第24号 お話あそび会 (その1・発表会の意味)
- 第25号 お話あそび会 (その2・取り組み実践)
- 第26号 お話あそび会 (その3・保護者へ伝える)

さいきんのかえっこ。

最近の傾向としてガラクタおもちゃが増えたような気がします。

M社のハンバーガーを買うとオマケで付いてくるガラクタも相変わらず多い。

おそらく小学生以上がデジタルゲームをする機会が増えて、そちらにお金が投入されているので、形のあるイイおもちゃが少なくなっているのか・・・

始めた当初は、「こんなイイもん出していいの!？」というものが結構あって、その頃やっていたオークションも力が入ったものだ。もちろん、最近のじゃんけんオークションでも、子どもたちは相当の入れ込みようで、負けて思いっきり落胆したり、泣き出す小学生も必ずいる。

幼児のさいきんの遊びの一つに、お気に入りのプラレールやおもちゃの動画をスマホで見て楽しむ、という遊びがあるが、これは遊びと言えるのか? 「遊び込む」というより、視聴していることが遊びになっていることも多いのではないかと危惧してしまう。だって、動画見ているうちにあそぶ時間がなくなっちゃうでしょ「晩ご飯よー! 片付けなさい!」って感じ。どんなイイおもちゃであそんでいるかって、それはその子の生活の文化だと思うのだが、さいきんイイおもちゃが減っているのが気になる。

